

2 市民アンケート結果まとめ(収穫祭及びセレスモス関連)

項目	アンケート	結果
収穫祭のPR 媒体効果と催しへの評価	収穫祭を何で知りましたか？(Q2)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民便り(約27%)が最も多かったが、新聞、チラシ、知人の紹介等、認知媒体は比較的分散していた。 <p>⇒回答者年齢層(60~70歳代主体)から紙媒体が効果的であったが、多世代参加に向けてはWEB媒体の効果的活用も必要と思われる。</p>
	今年の収穫祭で良かったところ、行ってみたいところはどこですか？(Q4)	<ul style="list-style-type: none"> ・「野菜の展示卸売会」が66.1%、「豚汁配布」が58%、サラダ試食等のある「大学の研究紹介」が33.9%と高い割合を示した。 <p>⇒食に関するイベントの評価が高く、実施の有効性が伺える。</p>
セレスモスについて	セレスモスを今までに利用したことがありますか？(Q9)	<ul style="list-style-type: none"> ・週1程度の利用者が35.7%、月に1回以上の利用経験者が60.7%を占めた。
	セレスモスを利用する理由は何ですか？(Q10) セレスモスのイベントに参加したことがありますか？(Q11) セレスモスで参加してよかったイベントや、これから行ってほしいイベントは何ですか？(Q12)	<ul style="list-style-type: none"> ・新鮮野菜の品数の多さ(78.6%)、直売品の安さ(53.6%)、地域の農産物が購入できる(38.4%)の順に評価された。 ・イベントに参加したことがある方は21.4%、参加の経験はないがイベントがあることを知っている方は20.5%、約4割の方が認知している。 ・野菜の直売(29%)、料理教室(23%)の他、試食など食に関するイベントを中心にハイキングやコンサートなど多岐にわたる項目が評価された。 <p>⇒セレスモスの認知度及び利用度も高かった。一方イベントに関しては、参加率約2割、認知度4割程度に留まっている。イベント内容に関しては、野菜の直売、料理教室、試食会など食に関するイベントが主に好評。</p>

2 市民アンケート結果まとめ(自然環境関連)

項目	アンケート	結果
自然環境の評価と散策路の認知度及びニーズ	黒川地区の谷戸環境についてどう思いますか？(Q13)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然がいっぱいあって良いが約9割を占め、懐かしさを感じさせる風景であるが46%、昆虫や鳥などの動物がみられるのがよいが30%、黒川の自然環境が高く評価された。 ・農体験や里山体験ができてよいが21%と、農や里山体験に関する認知と評価が比較的高い。 <p>⇒黒川地域の自然環境に関する評価は高い。また農体験や里山体験ができてよいという意見も2割を占め、一定の評価がされており、試行的に実施してみるとよいと思われる。</p>
	散策コースについて知っていましたか？(Q14)	<ul style="list-style-type: none"> ・歩いたことがある方が47%と、約半数の方が体験されている。 ・歩いたことがある、知っているが歩いたことがないが67%の方が認知している。 <p>⇒一定の認知がされており、散策路の活用が有効と思われる。</p>
	散策路への要望は何ですか？(Q15)	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレがほしいが53%と、半数以上を占める。 ・その他は「マップ」や「サイン」など案内に関するものが上位。「休憩所」「駐車場」「カフェ」など施設に関する要望も多い。 <p>⇒要望は多岐に渡っている。(トイレがほしい、マップがほしい、休憩所がほしい、案内板がほしい等)利便性を高める取組みが期待されている。</p>

2 市民アンケート結果まとめ(取組み関連)

項目	アンケート	結果
今後の取組み意向	市民農園や体験農園に参加してみたいですか？(Q17)	<ul style="list-style-type: none"> 市民農園や体験農園に「参加したい」が47%と約半数を占めた。 よく分からないが38%。 <p>⇒市民農園や体験農園の参加希望が約5割弱を占め、試行的に実施してみるとよいと思われる。</p>
	里山保全活動について知っていましたか？(Q18)	<ul style="list-style-type: none"> 「参加している」6%、「以前参加していた」4%を合わせても、約1割となっており、里山保全活動への関わりはそれほど多くない。 「知らない」が59%、「知っている」39%となっており、認知度は高くない。 <p>⇒認知度、参加率とも低い。まずは認知促進が必要である。</p>
	農と緑の環境を活かした取組みに対し期待することは何ですか？(Q19)	<ul style="list-style-type: none"> 「里山活動体験」が37.5%、「農業体験」36.6%と体験型の取組みに最も期待が高い。 「観光農園や農家レストランでの食事」33.9%、野外料理教室23.2%、バーベキュー22.3%、食品販売等20.5%と食に関する取組みへの期待も高い。 その他「ウォーキングイベントやマラソン大会」が31.3%と高い。 <p>⇒様々なメニューの中で、里山体験、農業体験ニーズが最も高い。また続いて観光農園、農家レストラン、料理教室、バーベキュー等食に関するイベントのニーズが高く、今後の取組みの目安となる。</p>

- 15 -

3 農業従事者アンケート結果まとめ(農地及び収穫祭関連)

■農業従事者アンケートについて

今回の専門部会開催に先駆けて、農業従事者に対し、アンケートを実施した。

実施時期：平成26年1月～2月

回答者数：44名（有効回答数44）

主な設問：体験型農園等の実施状況や興味、散策路整備について、今後の期待等

■アンケート結果の概要（当部会関連事項の抽出）

項目	アンケート	内容
農地および収穫祭	体験農園・市民農園の開設(Q1)	<ul style="list-style-type: none"> 体験型農園や市民農園（区画貸農園）について前向きな「開設している」「開設していないが興味ある」が計45%(20/44名)、「興味がない」が50%(22/44名)であり概ね五分五分である。 <p>⇒興味あると興味なしがそれぞれ半数を占め、試行的に実施していく一方で、興味がない理由をさらにヒアリング等で確認していく必要がある。</p>
	観光農園・掘り取りへの実施(Q5)	<ul style="list-style-type: none"> 興味がないが61%(27/44名)と突出して多くなっている。 「行っている」「行っていないが興味がある」と掘り取りに前向きな農業従事者は、34%(15/44名)となっている。 <p>⇒興味が無いが約6割を占め、その理由等をヒアリング調査する必要がある。一方、興味ある農業者が約3割いるため、試行的に取組むことも考えられる。</p>
	黒川農場収穫祭について(Q18)	<ul style="list-style-type: none"> 「収穫祭に地元農家の農産物のPRをしてもらいたい」41%(18/44名)、「収穫祭に黒川の景観と自然をPRしてもらいたい」34%(15/44名)となっている。 <p>⇒農産物や地域情報のPRの場として期待されている。</p>

- 16 -

3 農業従事者アンケート結果まとめ(自然環境関連)

項目	アンケート	結果
来訪者について	来訪者への印象(Q14)	<ul style="list-style-type: none"> 「訪れる人が増えた方がよい」が43%(19/44名)と最も多く、対して「訪れる人は増えないでほしい」25%(11/44名)となっている。来訪者増を望む方が約倍を占める。 「自家用車・自転車等で地域内に入ってほしくなく」という否定的な意見が41%(18/44名)。 <p>⇒市民の来訪を望む方が約4割強いる一方で、望まない方も約2割強占める。反対の理由として自動車の流入やマナーの悪さなどが挙げられており、問題点の解決をふまえた活性化の取組みが必要である。</p>
散策路について	散策路や道の整備について(Q15) 案内表示板等のサイン表示の設置について(Q16)	<ul style="list-style-type: none"> 「景観を維持保全して遊歩道や散策路は現状のままでよい」が半数以上55%(24/44名)を占める。「整備してほしい」も27%(12/44名)である。 「散策路の名称と行き先を表示してほしい」が半数を占め、次いで「地名とその説明を表示してほか30%(13/44名)となっており、案内表示に関する要望が多い。 <p>⇒現状維持が約5割強を占め、整備を望む声も約3割弱占めるが、その内容として「散策路の名称と行き先表示」が5割を占め、先のマナーの向上も含めた散策路のあり方検討が必要である。</p>

3 農業従事者アンケート結果まとめ(取組み関連)

項目	アンケート	結果
今後の取組みへの意向	黒川地域への期待したいことについて(Q17) 明治大学やその他の学校との連携について(Q23)	<ul style="list-style-type: none"> 「大学生との交流や地域のコミュニティづくり」27%(12/44名)で最も高かった。「里山活動体験」25%(11/44名)、「農業体験」21%(9/44名)と期待度が比較的高い。 <p>⇒多岐に渡る選択肢の中から、大学や地域交流への期待が約3割弱と最も多く、次いで里山及び農体験が多く、試行的な連携の取組みに期待が持てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「興味がある」「内容によっては検討していきたい」が45%(20/44名)となっており、前向きな方が多い。 「関心がない」は25%(11/44名)。 <p>⇒「内容によっては」も含め、約5割弱が興味を示しており、無関心層へのPRも含め、試行しながら連携の取組みを探っていくことが考えられる。</p>

4

部会の活動に向けたニーズや課題の整理

分野	市民の意向	農業従事者の意向	行政側の課題
収穫祭 セシサモス 農地関連	<ul style="list-style-type: none"> 野菜や食に関するイベントへの高いニーズ 新鮮な農産物への高いニーズ 	<ul style="list-style-type: none"> 収穫祭での地域農産物・地域環境のPRの実施 体験型農園や市民農園の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 大学（収穫祭）やセシサモスと連携した農地活用やイベントの検討が必要
自然環境 関連	<ul style="list-style-type: none"> 自然の豊かさへの高評価 散策路の認知が高いが、利便性を高める取組みを期待 	<ul style="list-style-type: none"> 散策路は、現状を維持しつつ、来訪者のマナー、安全面への不安の払拭を伴う一定の整備が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 農地や樹林地の保全と、市民の活用との調和を図ることが必要
取組み関連	<ul style="list-style-type: none"> 市民農園・体験農園の開園 農体験や里山活動体験の実施 食に関する各種イベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 明大生との交流や地域のコミュニティづくり（取組む内容の検討が必要） 	<ul style="list-style-type: none"> 農業従事者の意向をふまえた大学や地域連携による活性化のための調整が必要

- 19 -

5

取組みの方針（案）

取組みの方針1

農と里山の体感

市民：イベント開催へ高いニーズ

農業従事者：体験型農園や市民農園への関心

行政：農と緑を支える人づくり

取組みの方針2

地域資源の発見・創造・発信

市民：黒川地域のポテンシャルの有効活用を希望

農業従事者：マナーアップに配慮した来訪者増への取組み

行政：地域の周知・保全への支援

取組みの方針3

地域・大学・行政との協働

市民：大学や地域との連携への高い期待

農業従事者：地域農産物・地域環境のPR、地域や大学との連携に期待

行政：様々な主体が協働、連携しやすい仕組みの構築

- 20 -

6

具体化施策の展開

仮設定した「地域活性化検討専門部会」の方向性から考えられる取組みについて、今年度試行的に取組みを実施する事で、その取組みの効果や有効性等の確認を行う。

取組みの方針	計画	具体例
(1) 農と里山の体感	体感→見る・聴く・嗅ぐ →体を動かす →味わう	→①バスツアー →農業体験 →ウォーキング大会やマラソン大会 →クリーンキャンペーン →菜の花プロジェクト →料理教室（地産地消の促進） →②食育イベント
(2) 地域資源の 発見・創造・育 成	発見（地域資源を調べる・見つける） 想像（地域資源を創る） 育成（地域資源を育てる・発信する）	→情報発信の材料収集 →地域資源マップの作成 →③ウォーキングマップの作成支援 →来訪者の利便性向上策の検討 →④農と環境の情報ホームページ作成 →マナーアップ啓発
(3) 地域・大学の協 働	地域との協働 大学との協働 地域と大学との協働	→スタディツアー →⑤禅寺丸柿800周年関連イベントの実施 →コンサート →菜の花プロジェクト ⑥黒川野菜を使ったスイーツレシピづくり ⑦試食会、レシピの紹介

- 21 -

7

今年度の試行的取組みの提案

(1) 農と里山の体感

今後取組む項目と今年度検討する項目の選定、及びその内容と試行実施に向けた検討。

項目(案)	内容
①バスツアー	<p>農と環境が体感できるバスツアーの試行実施</p> <p>内 容：農と環境が体感できる場所をめぐるバスツアー 立ち寄り地案（明大農場、セレスモスなど） 立ち寄り地での企画（自然エネルギーと最先端農業技術の見学、地産地消について）</p> <p>開催時期：7月末、10月末 対象者：市民</p>
②食育イベント	<p>麻生の農と環境を考える（食育） ～夏休み親子体験教室～</p> <p>○麻生区（黒川）産野菜を使ったエコクッキング 内 容：麻生区の野菜を使用したエコクッキング（生ごみが出た場合はダンボールコンポストへ）</p> <p>○ダンボールコンポスト講習会 内 容：環境配慮したリサイクルを念頭としたダンボールを活用したコンポストの作成及び継続的な実施体験</p> <p>○明治大学黒川農場とグリーンツーリズム 内 容：黒川農場と黒川地域の見学ツアー（集合：黒川駅 解散：セレスモス）</p> <p>開催時期：夏休み 対象者：親子</p>

- 22 -

7

今年度の試行的取組みの提案

(1) 農と里山の体感

今後取組む項目と今年度検討する項目の選定、及びその内容と試行実施に向けた検討。

項目(案)	内容
③農業体験＋料理教室 (案)	観光農園等での掘り取りや調理教室の検討 内 容 : みかん、ジャガイモやサツマイモ等の掘り取り体験と、それを用いた調理体験 例 : ジャガイモの掘り取り体験をした後に、芋もち等の調理実習を行う。 開催時期 : 未定 場所 : 未定 対象者 : 市民



7

今年度の試行的取組みの提案

(2) 地域資源の発見・創造・育成

今後取組む項目と今年度検討する項目の選定、及びその内容と試行実施に向けた検討。

項目(案)	内容
④ウォーキングマップ 作成支援	部会でのウォーキングマップ情報をHPに掲載 検討事項 : ①ページへの誘導や、魅力的かつ見やすいHPのための工夫 ②HP用のマップへの修正 (修正点の検討)
⑤農と環境の情報 ホームページ作成	麻生区のHPの農と環境に関する掲載情報の充実 検討事項 : ①ページへの誘導や、魅力的かつ見やすいHPのための工夫 ②掲載内容の検討 (農と環境情報、写真コンクール、イベントカレンダーなど)

